

単元	年組番	氏名
二年「おうすをあらわすことば」		

どんなおうすかをかきくわくしあらわしたらいきましょう。「おうすをあらわすことば」をつかいます。「おうすをくわくわえることば」をいっしょうくわくわくしあらわすことができます。しぎのおうすな言い方があります。

じつぱらひびきにうつつ、おうすをあらわすことば

・雨が、ぎんぎんふっている。

(大つぶの雨が、前が見えなくなるほどにふっているようす。)

・雨が、しとしとふっている。

(こまかい雨が、音も立てずにふっているようす。)

・雨が、ぱらぱらふっている。

(まばらな雨が、少し音を立てながら、ふりはじめるようす。)

どわくらくかをあらわすことば

・雨が、はげしくふっている。

「雨のふり方が、はげしい。」とも言い換えられる。

たとえをつかって、ようすをあらわすことば

・雨が、たきのようにふっている。

(雨のふり方を、高いところから水がいきおいよくながれおちる「たき」にたとえてあらわしている。)

・バケツをひっくりかえしたみたいに 雨がふっている。

(ひどくふる雨を、バケツにたっぷりと入っている水が、いちどに外へながれ出てしまうようすにたとえている。)

単 元	年 組 番
二年「よつすをあらわす」とば	氏 名
9問	

1 よつすをあらわす」とばを□からえらんで、() に書きましよう。

- ① 星が () (かがやく。
 - ② 石が () (ころがる。
 - ③ () (明るいえがお。
 - ④ 鳥のくちばしが () (とがっている
 - ⑤ おふろに () (入る。
 - ⑥ 春風が () (ふく。
- ・ ひまわりのような
 - ・ ごろごろ
 - ・ えんぴつみたいに
 - ・ やさしく
 - ・ ぽりぽり
 - ・ ゆっくり
 - ・ きらきら

2 つぎの「とば」をつかって、短い文を書きましよう。

(例) (どっさり

りんごが、(どっさり) 木になっている。

① ぐっすり

② もくもく

③ 山のような (山のように)

チャレンジシート① きほん

学習日 年 月 日

単元	二年「たんぽぽのちえ」
氏名	
年組番	
11問	

このページのきょうかしょ 24ページから 27ページを 読んで ください。

1 たんぽぽは、どんなときに、どんな ちえを はたらかせて いますか。

(1) 春になると、 たんぽぽは、どうなりますか。

黄色い ()

() が、ひまます。



(2) 二、三日 たつと、 花や 花のじくは、どう なりますか。

花は、

花のじくは、

(3) 花の色が かわったり、 じくが たおれたり する わけは、なんですか。



花と じくを () () () ()
 たくさんの () () を おくつて いるのです。こうして、
 たんぽぽは、 () () を どんどん () ()
 のです。

2 やがて、は、どの ような いみですか。一つに ○ を つけましょう。

ア () (その あと すぐに。)

イ () (すこし じかんが たつと。)

ウ () (とても ながい じかんが たつと。)

3 白い わた毛が できる わけは、なんですか。

たんぽぽは、この わた毛に ついている () () を

ふわふわと () () のです。



ヒント

わけを 見つける
 ときに、 つぎの
 ことばに きを
 つけて さがし
 ましょう。

.....のです。
からです。

チャレンジシート② ジャンプ

学習日 年 月 日

単元	年組番	5問
二年「たんぽぽのちえ」	氏名	

じくじくの きょうかしよ 27ページから 29ページを 読んで
こたえましよう。

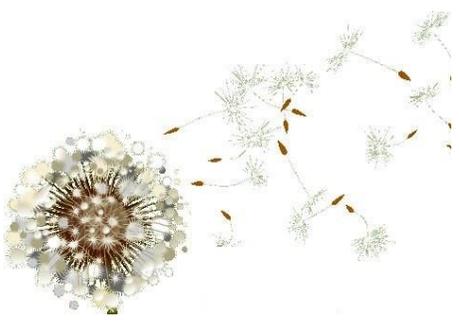
1 たんぽぽは、どんな ときに、どんな ちえを はたらかせて いますか。それには、どんな わけが ありますか。わかる文を 書きぬきましょう。

(1) この ころに なんと、 たおれていた 花のじくが おき上がって
ぐんぐん のびて いく わけは、なんですか。

(2) よく 晴れて、 風の ある日 わた毛の らっかさんは、どう なり
ますか。

(3) しめり気の 多い 日や 雨ふりの 日 わた毛の らっかさんは、
どう なりますか。

わた毛の らっかさんが すぼんで しまう わけは、なんですか。



2 たんぽぽが、いろいろな ちえを はたらかせるのは、なんの ためですか。

二年「お話のさくしやになろう」	単 元	年 組 番	問
氏 名			

みなさんが 絵を 見て そうぞうしたことを 文にして 伝えて みませんか。
 お話を 書くときは できごとの じゅんじょを たいせつにして、「はじめ」「中」「おわり」で 次の ことに 注意して 書いて みましょう。

はじめ
 書きだしを 考えましょう。
 みなさんは、 どのよう
 にお話を 書きはじめますか。

書きだしの パターン
 ・ じんぶつの しょうかいをする。
 ・ 会話から はじめる。
 ・ じんぶつが 話しているみたい
 にはじめる。
 など

中
 どんな できごとが おこ
 るかを そうぞうして 書き
 ましょう。

できごとの パターン
 ・ どこかに 出かける。
 ・ 何かを 見つける。
 ・ だれかと 出会う。
 ・ こまったことが おこる。
 など

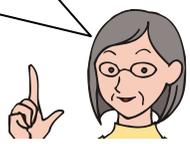
おわり
 「中」の できごとが どう
 なったかを、 書きましよう。

おわりの パターン
 ・ じけんが かいけつする。
 など

自分の そうぞうしたことが 読む
 人に うまく 伝わるように するに
 は、 つぎの ことを 大切に しま
 しょう。
 ① 会話を 入れる。
 ② 色や 大きさなど ようすを
 あらわす ことばを 入れる。



お話を 書きおえたら、 読みかえしま
 しょう。 まちがいが あったら、 正しく
 書きなおしましょう。 つぎの 三つを た
 しかめましょう。
 ① ひらがな、 かたかな、 かん字の
 まちがいは ないか。
 ② 「は」「を」「へ」「は」は、 正しく
 つかえて いるか。
 ③ 丸（○）や点（・）は、 正しく
 つかえて いるか。



単元

年 組 番

3問

二年「お話のさくしやになろう」

氏名

1 絵に あう お話を 線で 結びましょう。

はじめ



しばらく 歩くと、お花の きょうだい
こまって いました。きれいな お花です。
「やっと きれいに さいたのに、雨で 花
びらが ちってしまふよ。」
ぼくは、えがおで かさを かけて あげ
ました。お花の きょうだいから おれいを
言われました。ぼくも うれしくなって ス
キップで にじの木に むかいました。

中



ぼくは、ケロ。歌が 大すきな、かえるの
男の子です。
「やったあ、雨が ふってきたぞ。」
雨の 日は、かえるの なかまが 「にじ
の木」に あつまります。そして、みんな
歌を 歌うのです。
ぼくは、さっそく 出かけることに しま
した。

おわり



にじの木の 下に 着きました。友だちも
みんな あつまって います。あじさいも、
雨に ぬれて きらきらしています。
「きょうも みんなで、歌おう。」
雨の 音を メロディに、みんな
よく 歌いました。楽しい 一日に なりま
した

単元

年 組 番

1問

二年「お話のさくしやになろう」

氏名

1 「中」のお話を 絵を見て、そつぞつして、 に 書きましょつ。

はじめ



「おには、外。ふくはうち。」
 おにが出たので、ぼくは元気よくさけび、まめを
 力いっぱいなげつけました。
 「あいたた。」
 赤おにと青おには、にげていきました。

中



おわり



おわびに、ぼくは赤おにと青おにといっしょに、
 手まきずしを作りました。青おには、
 「おいしい、おいしい。」
 と言って、たくさん食べました。そして、とっても
 なかよしになりました。

チャレンジシート① きほん

学習日 年 月 日

二年 音読げきをしよう 「お手紙」	単 元	氏 名	年 組 番	7 問
----------------------	-----	-----	-------	-----

1 から5 のもんだいを読みましよう。そのあと、「お手紙」(6 ページから9 ページ)を音読し、こたえを書きましよう。

1 このお話には、だれがでてきますか。

[] [] [] [] []

2 がまくんがかなしいのは、どうしてですか。

だれも、ぼくに

[] をくれたことがないから。

3 ふたりは、どんな気分でげんかんの前にこしを下していましたか。

[] 気分。

4 かえるくんがしなくてはいけないことは、なんですか。

[] に

[] を出すこと。

5 かえるくんは、大いそぎで家へ帰ったあと、ふうとうに何と書きましたか。

なん

[] []

チャレンジシート② ジャンプ

学習日 年 月 日

単元	年組番	3問
二年 音読げきをしよう 「お手紙」	氏名	

1から3の問題を読みましよう。そのあと、「お手紙」を音読し、「たえを書きましよう。

1 がまくんは、なぜ「ぼく、もうまっているの、あきあきましたよ。」と言ったのでしよう。

2 『かえるくんは、まどからのぞきました。かたつむりくんは、まだやってきました。』という同じ文しようがくりかえしできてきます。そのときのかえるくんの気持ちを書きましよう。

3 教科書6ページのかえるくんとがまくんが、げんかんにこしを下ろしているときと、14ページのかえるくんとがまくんが、げんかんにすわっていたときをくらべると、二人の気持ちは、どんなふうにかわったでしよう。

単元	年組番	
二年 かん字の読み方	氏名	

つぎの文を、声に出して読んでみましょう。

ぼくのおとうとは、四月四日の日曜日に、四さいになりました。

◎ この文の中には、「四」と「日」が三回ずつ出てきました。それぞれ、つぎのような読み方です。

四月	四月	四さい
し	よつ	よん

四日	日曜日	日曜日
か	び	にち



一つのかん字でも、読み方は、一つとはかぎりません。ことばによつて、ちがう読み方をする場合があります。

「生うきる」「生はえる」の——線のような、かん字の下にひしひして書くかなを、**おくりがな**といいます。おくりがなには、かん字の読み方をはっきりさせるはたらきがあります。おくりがなに気をつけて、かん字を正しく読むことが大切です。

二年 かん字の読み方	単元	氏名	年組番	13問

1 いくつかの読み方があるかん字です。() () に読み方を書きましょう。

上

- ① おく上から、運動場が見える。() ()
- ② テーブルの上に、コップをおく。() ()
- ③ げんかんに、上ばきをおく。() ()
- ④ 川上で魚つりをする。() ()
- ⑤ トラックに、にもつをつみ上げる。() ()
- ⑥ 学校のかいだんを上る。() ()

下

- ⑦ ろう下を歩く。() ()
- ⑧ 夕方、下山する。() ()
- ⑨ ビルの下で雨やどりをする。() ()
- ⑩ 川下は、水のながれがおそい。() ()
- ⑪ 頭を下げる。() ()
- ⑫ 夏休みに川下りをする。() ()
- ⑬ かばんを下ろす。() ()

二年 かん字の読み方	単 元	氏 名	年 組 番	7問

◎ たくさんの読み方があるかん字です。読んでみましょう。

(1) 生

1 二年生 <small>せい</small>	2 生 <small>い</small> きる	3 生 <small>なま</small> もの	4 生 <small>う</small> まれる	5 生 <small>は</small> える
-------------------------	-------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------------------

○ 1から5の読み方をつけて、主語と述語のある短い文をつくりましょう。

5	4	3	2	1

(2) 入

1 入 <small>い</small> れる	2 入 <small>はい</small> る
-------------------------	-------------------------

○ 1と2の読み方をつけて、主語と述語のある短い文をつくりましょう。

2	1

二年 主語と述語	単元	氏名	年組番
<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: auto;"></div>			

「だれが(は)」「何が(は)」「当たる(は)」「何を(は)」「何を(は)」
 「だれが(は)」「何が(は)」「当たる(は)」「何を(は)」「何を(は)」

「だれが」 「どうした」

・スイミーが 言いました。

「だれは」 「どうした」

・スイミーは 海のことを およぎました。

「何が」 「どうする」

・スイミーが 考える。

「だれは」 「どんなだ」

・スイミーは うれしそうだ。



文を読むときは、主語と述語のつながりに気を付けましょう。
 じぶんがしたことや、よすが、よぶんからです。語やひきき文
 を書くときは、主語と述語があいって、きちんとしたわるい
 じまじまひ。

二年 主語と述語	単元	氏名	年組番	9問

1 つぎの文は、アからウの どの形に あたりますか。記号をえらびましょう。

- ① () () ひまわりは きれいだ。
- ② () () 先生が はしっている。
- ③ () () 魚が 川を すいすい およぐ。
- ④ () () ぞうの 鼻は 長い。
- ⑤ () () この花は、コスモスだ。

ア	なには (が) どうする。
イ	なには (が) なんだ。
ウ	なには (が) なんだ。

2 つぎの文で、主語には、——線を、述語には、……線を、右がわにひきましよう。

- ① わたしは 字を 書く。
- ② 犬の ポチが 外を はしる。
- ③ ひこうきは はやい。
- ④ 男の子が 青い ふうせんを もっている。

二年 主語と述語	単元	氏名	年組番
1 2 問			

1 絵を見て、「だれ(何)が、どうする(どうした)。」という文を作りましょう。

①



が、

。

②



が、

。

③



が、

。

2 つぎの文の 主語を で、述語を でかこみましょう。

① ぼくは、男の子です。

② わたしの おにいちゃんは、ちゅうがくせい 中学生です。

③ チューリップの花は、きれいです。

単元		年 組 番
二年「同じ ぶぶんをもつ かん字」		
氏名		
1 2 問		

1 「 」の中の かん字で、同じ ぶぶんを 見つけて、
なかまわけを しましょう。

日 見 林 目 曜 校 絵 細

- (1) 「日」が入った かん字 ことえ ()
- (2) 「目」が入った かん字 ことえ ()
- (3) 「木」が入った かん字 ことえ ()
- (4) 「糸」が入った かん字 ことえ ()

2 同じ ぶぶんを 見つけて () に 書きましょう。

- (1) 右 口 ことえ ()
- (2) 男 田 ことえ ()
- (3) 草 早 ことえ ()
- (4) 刀 切 ことえ ()

単元		氏名	年組番
二年「同じ ぶぶんをもつ かん字」			
			8問

1 「 」の中の かん字で、同じ ぶぶんを 見つけて、なかまわけを しましょう。(見つけた じゆんに 書きましょう。)

学 花 字 話 草 読 名 多

- | | |
|---------|---------|
| (1) () | (2) () |
| (3) () | (4) () |

2 —の「とびは、 】のどちらの かん字で 書きますか。正しい ほうを ○で かこみましょう。

- | | |
|--|--------------|
| <p>(1) 小さな むら。 【村・林】</p> <p>(2) からだを うごかす。 【体・休】</p> <p>(3) ともだちの かっている いぬ。 【大・犬】</p> <p>(4) き車に のる。 【気・汽】</p> | <p>【気・汽】</p> |
|--|--------------|

単元	年組番	16問
二年「にたいみのことば、はんたいの いみのことば」	氏名	

1 つぎのことばと にたいみのことばを からえらんで 書きましよう。

- (1) はなす () (5) あわてる () ()
- (2) もらう () (6) ながめる () ()
- (3) わらう () (7) どうろ () ()
- (4) とじる () (8) きれい () ()

うつくしい・見る・いそぐ・しゃべる・しめる・いただく・ほほえむ・みち

2 つぎのことばと はんたいのいみのことばを からえらんで 書きましよう。

- (1) 上 () (5) おもい () ()
- (2) 大きい () (6) くらい () ()
- (3) ふかい () (7) 太い () ()
- (4) 少ない () (8) のる () ()

下・明るい・あさい・おりる・かるい・小さい・ほそい・多い

単元		年 組 番	8問
二年「にたいみのことば、はんたいの いみのことば」			
氏	名		

1 つぎのことばと にたいみのことばを 書きましよう。

(1) しやがむ

(2) 言う

(3) おこる

2 つぎのことばと はんたいのいみのことばを 書きましよう。

(1) のびる

(2) ねる

(3) かつ

3 つぎのことばと はんたいのいみのことばをえらんで () に○を書きま
しよ。

(1) おわり () () ()

}	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()

() おしまい
() はじまり
() つづく

(2) うく

}	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()

() しずむ
() およぐ
() うかぶ

単元	年組番	問
二年 お話を読んで、かんそつを こう「スイミー」	氏名	

お話を読むときのポイント

- とうじょうじんぶつのようなすをそうぞうする。
- ・ キーワード（だいじなことば）を見つけて、書きぬこう。

①じんぶつのことや言ったことから

れい 見つけた かんがえた 「ぼくが目になろう。」

②じんぶつを見たようすから

れい にじ色のゼリー

- ・ なぜそのことばを「キーワード」にしたか、わけを書いてみよう。

れい 「ぼくが目になろう」・・・スイミーがよくかんがえて、じぶんだけが黒いことを

うまくつかって、まぐろをおいだすさくせんを立てたのが、すごかったから。

- ・ 会話をくりかえし音読しよう。

- ・ さしえをもとにとうじょうじんぶつのようなすを話し合おう。

- しゅじんこうの気もちのへんかかんがえてみよう。（心情曲線等）

しゅじんこうきもちへんかかんがえて

しゅじんこうはだれでしょう。
どんな生きものが出てきた
でしょう。



スイミーのしょうかい（50ペー
ジ）のキーワードは、わたしなら
「まぐろ」
「だれよりもはやかった」
ですね。



単 元	年 組 番	9問
二年 お話を読んで、かんそうを 書名 こう「スイミー」	氏 名	

1 教科書56ページから59ページを読んで答えましょう。

(1) 「出てこいよ。みんなであそぼう。」とは、だれが、だれに言ったのでしょうか。

が、

に

(2) (1)でさそわれた魚たちは、なんと答えましたか。

(3) スイミーはかんがえたのですが、どのように考えたかわかる文を二つ書きぬきましょう。

(4) スイミーは、どのようなことをかんがえつきましたか。じぶんのことばで書きましょう。

(5) スイミーが赤い魚たちに教えたことを二つ書きましょう。

(6) みんなが大きな魚みたいにおよげるようになったとき、「ぼくが、目になるう。」と言ったスイミーに、あなたは、なんと言いたいですか。書きましょう。

単元	年組番	9問
二年 知っていることとつなげて読もう 「おにぎり」	氏名	

1 「く」のきょうかしよ 82ページから、84ページの8行目を読んで
こたえましょう。

(1) おにぎりは、どんなあそびですか。

おにぎりは、() がなくても、() できるあそび。

(2) 「ちまぢま」は、どのような いみですか。正しいものに、○をつけま
しょう。

- ア 一つだけ
- イ いくつか 少し
- ウ いろいろ

(3) このお話は、おにぎりの 何と何を せつめいしていますか。

○どんな () があるのか。
○なぜ、() をするのか。

(4) 「にげてはいけないところをきめる」あそび方をするのは、なぜですか。
だれ

() がにげる人を () するため。

(5) にげる人が かんたんにはつかまらないようにするためのあそび方は、
どんなあそび方ですか。

にげる人だけが () を作ったり、() をきめ
たりするあそび方。

二年 知っていることとつなげて読もう 「おに」「つこ」	単 元	年 組 番	5問
氏 名			

「こく」のきょうかしょ 84ページの9行目から87ページを読んで
こたえましょう。

1 「おにが交代せずに、つかまった人が、みんなおにになっておいかける。」あ
そび方について答えましょう。

(1) この遊び方には、どんないいところがありますか。わかるところを文の中か
ら書きぬきましょう。

○おにになった人

○にげる人

(2) このあそび方で、おに「つこ」がすぐにおわらないために、どんなきまりを
つけ足しますか。つけ足すきまりを書きぬきましょう。

2 おに「つこ」は、どのようにくふうされてきましたか。(11文字で)

くふうされてきた。

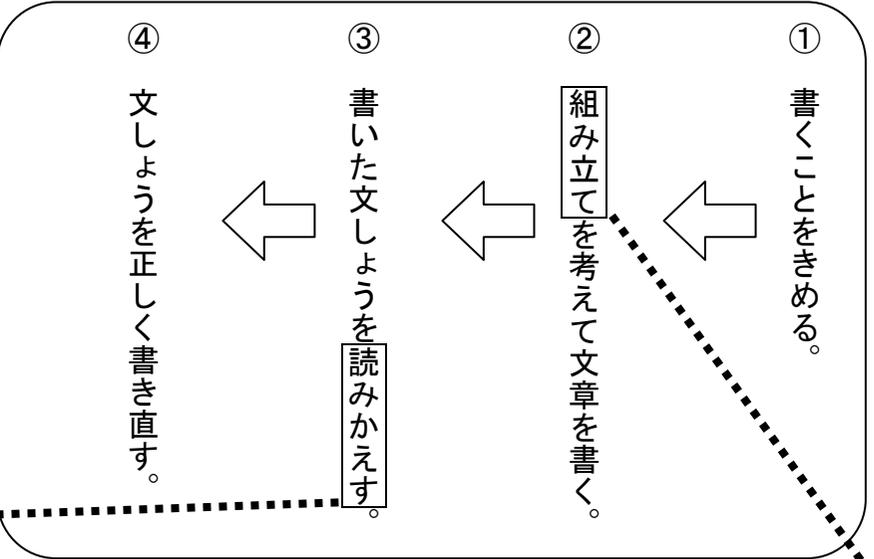
3 みんなが楽しめるおに「つこ」にするために、あなたはどんなきまりをつけた
しますか。書いてみましょう。

チャレンジシート① 学ぶ

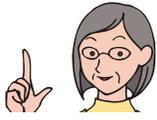
学習日 年 月 日

単元		二年 できごとや気もちが伝わるように書く「楽しかったよ、二年生」
氏名	年組番	問

作文（生活文）の書き方



組み立てのポイント



はじめ
 「心にのったことは何かを書く。」
 ・運動会にむけてみんなで「ダンス」のれんしゅうをしたこと。

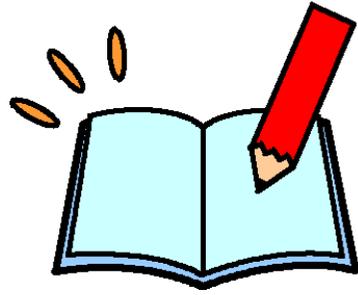
中
 「そのときしたことや、思ったことを書く。」
 ・みんなの手と足の動きがあうまで、何回もれんしゅうしたこと。
 ・さい後のれんしゅうできれいな「ウェーブ」ができたこと。
 ・〇〇君が、おうえんをしてくれて、うれしかったこと。

おわり
 「いちばん書きのこしておきたいことを書く。」
 ・みんなの気持ちの一つになったこと。



讀みかえすときのポイント

○書いたものは讀みかえして、まちがいがなにかたしかめる。
 ・丸（○）、点（・）、かぎ（「」）を、正しくつかう。
 ・「は」「を」「へ」を、正しくつかう。
 ○声に出して讀んでみると、まちがいや、讀みにくいところを見つけて、正しく書くことができる。



単元	年 組 番	問
二年 できごとや気もちが伝わるように書く「楽しかったよ、二年生」		
氏名		

1 くわしく思い出して、そのときのことがあったわるように書きましよう。

(1) 一年をふりかえって、書くことをきめよう。

(2) 「組み立てメモ」を書く。

中

おわり



☆心のノート
うんうん...

☆そのときしたこと
や、思ったことなどを
思い出して書く。

- ・あなたがしたこと。
- ・あなたが思ったこと。
- ・友だちが言ったこと。
- ・いちばんがんばったこと。
- ・うれしかったこと。
- ・おもしろかったこと。

☆いちばん書き
のこしておきた
らことを書く。



単 元		年 組 番
二年 分かりやすくせつめいしよう 「おもちゃの作り方」	氏 名	

自分が作ったおもちゃの作り方や楽しみ方を友だちにしようかいしてあげたいと思います。生活科や図画工作科で作ったおもちゃを思い浮かべてみましょう。分かりやすいせつめいにするには、どんなことに気をつけて書けばよいでしょう。

文しように書くときのポイント

つぎの「」のことを、じゅんじょよく、まとまり「」と、「」とばをくふうして書いてみましょう。

【どんなおもちゃなのか、しようかいするみじかい文(おもちゃ作りになぞう文)】

(れい) ・ ひらくと、かざりがとび出すカードの作り方をせつめいします。

【作るときにひつようなざいりょうとどつづく】

(れい) ・ 色画用紙き色(八つ切り半分ぐらい一まい)

色画用紙みどり色(色紙ぐらいの大きさ一まい)

のり ・ はさみ ・ ものさし ・ サインペン(黒)

【作り方】 ↑

ここは、せつめいをよんで作っていくための中心となる大せつな文

しようです。作り方をじゅんじょよくまとまりごとにかけて、作る人

がよみながらうまく作れるように、ことばや文を考えましょう。

絵やしんをつかい、それに合うせつめいをしたり、つかうこと

ばを分かりやすくふうしたりして、うまく作るこつを書きましょう。

▼ 作り方のじゅんじょをあらわすことば、「まず」「つぎに」「それから」「やがて」「などをつかいましょう。

(れい) ・ まず、大きい画用紙をしんのようにはんぶんにおります。山

おりのところのまん中に、切りこみを二本いれます。切りこみの長

さは、四センチメートルです。

つぎに.....

▼ 絵やしんをつなぎ合わせるこつばをつかきましょう。

(れい) ・ しんのように

▼ うまく作るこつがより分かるこつばを見つけて書きましょう。

(れい) ・ 「ばしよをあらわすことば」「右はし」「真ん中」

・ 「かずをあらわすことば」「一まい」「二本」

・ 「長さをあらわすことば」「四センチメートル」

・ 「大きさや太さをあらわすことば」「つくえの広さ」「ビー玉ぐらい

・ 「ようすをあらわすことば」「ぴったり」「とれないように」「強く」

【あそび方】

(れい) ・ 左右に糸をどうじにひっぱったり、ゴムのよりのばしたり、ちぢ

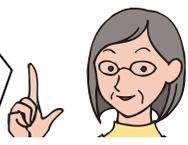
めたりすると、ぐんぐん回ってたのしいですよ。

文しように書いたら見なおして、よりよいものに書きなおしましょう。

・ 分かりやすいじゅんじょになっているか。 ・ つかうことばは、分かりやすいか。

・ 絵やしんは、文しように合っているか。 ・ 作り方のこつが伝わってくるか。

・ ひらがな、かたかな、かん字、「」や「。」を正しくつかっているか。 ・ ・ ・ など。



「はじめて作るお友だちにもよく分かるせつめいにしてよう。」

「うまく作るこつがわかるひつたりのことばは何かな。」

「絵と文しよが、きちんと合っているかな。」

「たのしいあそび方もくふうして書いてありますよ。」

単 元	年 組 番	17 問
二年 分かりやすくせつめいしよう 「おもちゃの作り方」	氏 名	

1 (1) 左の「けん玉の作り方」についてのせつめいは、四つのまとまりに分かれています。それぞれ
のまとまりには、せつめいすることばがかくれています。まず、自分でかくれたことばを絵と文
しょうからかんがえて書きましょう。

(2) 本文中の絵に合う文を下の文から見つけて、せんでむすびましょう。

(3) (2) のことばのほかに、うまく作るこつが分かることばがあります。ばしよ(どこか)を表
すことばに、——せんを、ようすを分かりやすくしていることばに——せんをひきましよう。
二つずつさがしましょう。

※ シートのおしまいでやりおえてから、そのあとで、きょうかしの44ページから45ペー
ジを見てだしかめ、こつばを書きくわえましよう。

まつぼっくりをつかった、けん玉の作り方をせつめいします。

〈ざいりようどごうぐく〉

- ・ 一つ ・ (つくえのよこの長さ)
- ・ 紙コップ つ ・ ガムテープ ・ カラーペン

〈作り方〉



・ 、毛糸のはしを、まつぼっくりにまきつけま
す。そして、とれないように、きつくむすびます。

・ 、毛糸のはんたいがわの を、紙コップ
の につけます。ガムテープで、毛糸をとめます。

・ それから、その毛糸をはさむようにして、もう一つの
紙コップをのせます。コップのそこそこそこを
合わせて、ガムテープでしっかりとめます。

紙コップに、カラーペンできれいな模様をつけて、
できあがりです。

〈あそび方〉

二つの に、じゅんばんにまつぼっくりを入れて ます。

何回つづけてできるか、数えるとしたのしいですよ。

単 元		年 組 番	6 問
二年 分かりやすくせつめいしよう 「おもちゃの作り方」		氏 名	

1 つぎの文じょうのだい名は、「ぶんぶんごまの作り方」です。「はじめ」と「おわり」のぶんぶんにあたる文やことばが書いてあります。それらとうまくつながるように、「なか」のぶんぶんの【作り方】をせつめいする文じょうを書こうと思います。

の中の書き方のやくそくに合うように、くふうして書きましよう。

■ぶんぶんごまの作り方を三つのまとまりに分け、50字いじょう60字いないで書く。
 ■作り方の三つのまとまりにある、それぞれの絵と文じょうが合うように書く。
 <書き方のやくそく>

- 1 それぞれのまとまりのはじめに、じゅんじょをあらわすことばをかならずつけて書く。
 (つけたじゅんじょのことばに) —— せんをひくこと。()
- 2 三つのそれぞれの中、なにをどのようにすればよいのか、作り方のことば(ようす)が分かる左の□のようなことばを、どれかかならずつけて書く。
 (つけた作り方のことば) (ようす) が分かることばに —— せんをひくこと。()

※ヒント (チャレンジシート① 学が「にも書いてあることをさんこうにする。(れい)」「ばしょをあらわすことば」「かずをあらわすことば」「長さをあらわすことば」「大きさや太さをあらわすことば」「ようすをあらわすことば」・・・など。

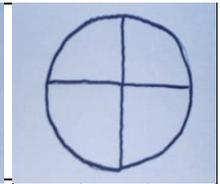
ぶんぶんごまの作り方

牛にゆうパックをつかった、ぶんぶんごまの作り方をせつめいします。

【ざいりょくじょうびくべ】

- ・たこ糸 ・牛にゆうパック ・はさみ ・きり (先生といっしょにする) ・カラーペン

【作り方】

		
A large grid for writing the instructions, consisting of 10 columns and 10 rows of small squares.		

【あそび方】

ひものまん中の紙をくるくるとまわして、ひもをねじります。ひものねじれをとるように、左右の手でひもをひっぱったり、ゆるめたりしてあそびます。ゴムののように、のびたりちぢんだりするのがとてもふしぎです。もようの色もきれいです。